

茨城大学地域研究・地域連携プロジェクト＜公開シンポジウム＞

「自然共生型農業の理論と技術

～持続可能な耕作放棄地の活用で地域農業を活性化する～

概要

コロナ禍で外国人技能実習生の入国や農産物の輸入が制限されるようになり、国内での持続可能な農産物生産は今後増々重要になってきます。一方で茨城県内の耕作放棄地面積は全国2位の21,120haもあるにもかかわらず、新規就農者が耕作放棄地を借りても技術不足等で安定した栽培ができず、農地はあるのに十分に活用できていません。そこで、経験年数の浅い農家や有機農業に関心のある方むけに県内で取り組まれている自然共生型農業について紹介をします。

登壇者（敬称略）

- 小松崎将一（茨城大学農学部国際フィールド農学センター）
「Organic No-till:保全しながら生産する新たな道」
- 金子信博（福島大学食農学類）
「耕作放棄地で土壌はどのように「良く」なるか？」
- 涌井義郎（NPO 法人あした有機農園）
「有機農業者育成のための技術指導」
- 三木孝昭（公財）自然農法国際研究開発センター
「水田雑草生態系とその制御；水稻における栽培技術及び研究事例」

現場紹介

- 松井眞一（日本農業実践学園有機専攻担当）
松浦江里（茨城大学農学部国際フィールド農学センター）

開催日：2020年11月15日（日）13～17時

会場：日本農業実践学園（水戸市内原町1496）よりオンライン中継

主催：茨城大学農学部国際フィールド農学センター

協賛：NPO 法人あしたを拓く有機農園，日本農業実践学園，Cookpad

参加費：無料（実践学園会場のみ定員30名，県外の希望者はオンライン人数制限なし）
参加申し込み：以下のQRコードもしくはリンクからフォームアクセスし，必要事項を記入してください。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=EwOyHonC00GKuRRvQf_3052pRpBaXB5Pr-zqpR0lgDJUNzMzUk1HUTgzRIVRM0pQOVM4UTgyU1QyNS4u



申し込み締め切り：11月14日（金）17：00まで

問い合わせ先：茨城大学農学部国際フィールド農学センター（TEL:029-888-8695 松浦）

FAX 送付先 : 029-888-8715

自然共生型農業シンポジウム 参加申込書（実践学園会場参加希望者のみ）

1. 氏名（ふりがな）：

2. お住いの市町村：

3. 電話番号：

4. 職業：

5. イベントをどのように知りましたか？

（知人の紹介・有機農業 ML・SNS ・大学・学会 HP など）

6. 年代に○をつけてください

（30代以下 ・ 40代～50代 ・ 60代 ・ 70代以上 ）

7. 自然共生型農業について知りたいことや演者への質問があれば自由にご記入ください.

--

注）定員に達した場合は前日までに連絡させていただきます．

FAX での申し込み締め切り：2020年11月13日17：00

問い合わせ：茨城大学国際フィールド農学センター：029-888-8702